肅啓甚後ハ久々ニ無音ニ過ギ候ハ海涵
歳下ヽ極伏皆仕ル閣下益々ニ御清榮
ニ在ル國事ニハ無力ニ而東向遥賀
仕ヽ豈甚後異郷之風土ニ慣逢有覚
ニ至リ尚ニ印ハ一向一身之研修ニ終事シ
他事ハ一切之を拠ち在留我國人とも交際
を謝絶シ唯所期の目的を達シ可ニ
心懸ニ至リ之ニ為め本國諸友ニも極メテ
疎闊ニ過ギヽ姿ニ成ヽ事ヲ深無ニ
次第ニ御座ヽ昔他日理学ヲ秩ギ小人ト
なりし閣下ニ付シ錐ニ無所恃ヲ上ヽ有
一書ニ呈ス時候ハ個なり上ニ小句ニ数首
十月十八日
嶋田三郎
大隈伯閣下